



団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
清新地区まちおこし運動実行委員会	清新地区まちおこし運動啓発事業	地域活性化事業交付金制度を広く周知し、各種団体に参加してもらい、有効に活用し、地域活性化に結びつける。	・チラシ、ポスター等による「まちおこし運動」の周知啓発活動 ・審査会プレゼンテーション開催 ・報告会プレゼンテーション開催	昨年度からの継続事業4事業に加え、新たに今年度2事業の参加があり、いずれも地域活性化事業交付金を受けることができた。	3年目の継続事業であるが、周知啓発活動により、自治会をはじめ、各種団体に浸透してきている。 プレゼンテーションには審査会、報告会ともに70名以上の方が来場した。	H24.7.10	80,000
清新第二自治会	自治会内交流による絆づくり事業	これまで地区内の地域活動団体(子ども会、老人会、各スポーツ団体等)の情報や地域の課題点等について、情報発信が行われていない、あるいは、行われていても個々に行われているのが現状であることから、本事業により、これらの情報を自治会だよりに集約し、これを広く情報発信することにより、会員相互の共通認識の醸成を図り、さらに、活力ある自治会活動をアピールすることにより、自治会未加入者の加入促進等を行ない、もって、自治会内の絆づくり、ひいては、清新地区の絆づくりの一助とする。	自治会だよりをカラー化、紙面拡大し4回発行した。自治会内全世帯(自治会未加入世帯にも)に配布するため各回1,500部発行した。	自治会だよりのカラー化、紙面の拡大により、情報発信がしやすくなったとともに、読みやすくなり、親しみを持たれたことにより、読まれる実績も約20%UPし、自治会の問題の共有化が図られた。	自治会や各団体の活動状況等を発信することにより、加入促進、地域活性化、融和と絆が深まったと感じる。自治会脱退者の歯止めとなっている。編集会議を立ち上げ円滑な発行と継続性が高まった。	H24.7.10	93,000
清新地区自主防災協議会	清新地区災害対策基地の整備事業	清新地区災害対策基地の整備 災害対策基地と各学校避難所間の緊急連絡体制の整備	11月に実施した清新地区防災訓練において、簡易無線機を使用し、情報伝達訓練を実施した。今年度はより多くの者が取り扱い訓練ができた。	災害時緊急連絡体制の確保が図られ、公民館(災害対策基地)、各学校避難所間の円滑な連携が可能になった。	年々無線機の取り扱いもスムーズになってきている。	H24.7.10	91,000

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
清新消防後援会	災害に強いまちづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災の向上 集合住宅の防災強化 救命率の向上 自治会加入促進 	<ul style="list-style-type: none"> 消防協力員会議開催 地区連合防災訓練に参加 年末パトロールに参加 出初式に参加 救命講習会開催 避難完了ステッカー配布 通年 各自治会防災訓練に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 防災活動のPR 救命率の向上 地区消防協力員の賛同者が増えることによる担い手の育成 集合住宅の防災強化 自治会加入促進 	<ul style="list-style-type: none"> 消防協力員の活用による地区、各自治会防災訓練の充実 救命講習の受講者数増加による各自治会の救命率向上 避難完了ステッカーによる防災活動の効率的運営 自治会未加入者に対する自治会活動の浸透による自治会の加入促進 	H24.7.10	466,000
清新地区シンボルマーク活用実行委員会	清新地区シンボルマーク活用による一体感作り	各自治会、そして清新地区としての一体感を醸成し、愛着、誇りを育み、コミュニティの力を再生することにつなげる。	清新地区シンボルマークを募集し決定した。 決定したシンボルマークを活用し、各自治会のピブスゼッケンを作成した。	清新地区のシンボルマークの策定にあたり、地区内の自治会や学校など多くの人々に参加してもらうことができ、清新地区としての一体感を醸成し、まちづくりの機運を高めることにつながった。	多くの住民が制作に関わったシンボルマークが様々な形で地区内で掲示等されることにより、今後も継続的に清新地区のまちづくりが盛り上がるものと思われる。	H24.7.10	1,188,000
相模線桜並木保存実行委員会	相模線沿い桜並木の美化事業	桜の木の延命 桜並木道路全体の美化を図る 通学路として利用する児童・生徒の情操教育に寄与する 地域コミュニティの場として活用	<ul style="list-style-type: none"> 芝桜植栽帯の整備(耕耘、地拵え) 芝桜等の植栽 柵、看板の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 桜の木の延命 桜並木道路の美化 通学路として利用する児童・生徒の情操教育 	周辺の5つの自治会、小中学校、PTA等の複数の団体が参加できたことに大きな意義があると考えている。	H24.7.10	725,000

